

ヒドゥンカリキュラムについて

ヒドゥンカリキュラムとは、一般的に、児童生徒が学校生活にうまく適応していくために学びとっていく黙示的な規範・価値・態度など実際行動面での知識内容。児童生徒が指導計画や教科書にそった教師の意図的明示的な指導によって獲得していく知識や価値観や情操能力ではなく、教師が意図しないのに、暗黙裡に人間形成的影響を及ぼすもの。

| | | | | |
|------------|---|----------------------------|--|-------------|
| 学習者が学び取る内容 | 教 | 指導 | カリキュラム（教科・教科外） ・授業 ・学習内容 | 教育者側が意図した内容 |
| | 育 | 観察 刺激 相談 案内 激励 | 学校生活（主に集団の中で） ・学校経営 ・学年経営 ・学級経営 ・学習規律 | |
| | | | ↓ ヒドゥンカリキュラム（1） ↓ ・どんな子供に育てたいか？ ↓ ヒドゥンカリキュラム（2） ・授業を含め学校での生活の中で児童生徒自身が獲得していくもの。教育者の意図はない。 ・よいことも悪いことも獲得していく。 ・人格形成に大きく影響する。 ・集団学習、集団活動、行事の準備、行事等の中で | |

↓
学級作りに大きく影響する。

自主的・創造的・向上的学級集団

学級崩壊

※子どもたちが、どんなことを学び取っているか よく観察することが大切。

それによって、適切な刺激を与え、方向性を修正していく必要がある。

※「観察・刺激・相談・案内・激励」について

「教育」という言葉は、なんだか「上」から「下」へという感じがする。教師は、子どもたちを「指導」するのではない。

1. 観察——まず、子どもたちをしっかりと観察すること。
2. 刺激——観察で得たデータをもとに個々に適切な刺激を与えること。
3. 相談——刺激によって、子どもたちは、動き出す。

そこで、問題の解決に支援・助言を与える。

4. 案内——子どもたちにこれからの方向性・見通しを示す。
5. 激励——あとは、「がんばれよ」と激励し、肩をたたいてやる。

これが、本当の意味での「教育」ではないか。

授業・学習指導を支えているのが、ヒドゥンカリキュラム（1）ではないかと思う。

指導者は、授業・学習指導を通して、「どんな子供に育てほしいか」を主張すべきであると思う。これが、教育基本法の「子供の人格を育てる」ことではないかと思う。